

会報だより

「無言館」を訪れて

高校時代の友人と毎年小旅行を楽しんでおりますが、今年は長野県上田市にあります「無言館」という美術館へ行ってみました。



戦没画学生慰霊美術館 無言館 外観

この美術館は戦争で命を落とした方々の遺作を集めて展示されているところです。今年、24時間テレビや吉永小百合さんの朗読でも少し紹介されており、ご存じの方々もおられると思います。



戦没画学生の絵を次代へ 吉永小百合さん朗読 産経ニュースより

けっして楽しい場所ではなく、むしろ暗い重い空気のところですが、一生に一度は、見ておきたい美術館と思いましたが、6名で行ってまいりました。



無言館 館内 写真は信州上田観光協会より借用

作品は、家族の顔であったり、故郷の風景であったり、恋人の姿であったり、様々ですがどの作品にも生前大切に思われていたことは、伝わって参りました。それぞれの作品の下には、お名前と亡くなった年齢と場所が書かれておりました。21歳〜40歳前後と皆様若くして、命を散らした方々でした。その説明を読むたびに胸が詰まる思いだったのは、私だけでは無いと思いません。館に「無言」との名前が納得できる空間でした。生きていくことの意味を

そして、自分を改めて問いただせる気がいたしました。近くには、良い温泉もあり美味しい料理にもありつけました。まったけの産地で有名な



上田市の美味しい まったけ

らしく、30数年ぶりに国産まったけを味わうことができました。



記・奥田美智子

ガイドブックを 富田文化祭に展示

富田自治会連合主催の「富田文化祭」は、毎年開催されて来ましたが、ここ2年間コロナの問題で開催されず、ようやく今年（令和4年度）11月19・20日に富田公民館で開催されました。

前回は、私達の老人会がパネル（4枚）をお借りして展示しました。今年は、私達の自治会と老人会 協働でブースとして展示することになりました。



パネルとテーブルに展示

文化展でなく、文化祭なので、各人の趣味の作品を多く出して頂き賑やかなブースになりました。文化展（書道展や絵画展など）では、来場者は静かに展示品を見、鑑賞して頂きますが、文化祭では出展者と楽しいコミュニケーションをして頂きました。



展示品を見たり、作品を手にしてコミュニケーション

自治会は、毎月発行している「撰津住宅自治会だより」を展示と手に取って見て頂けるようにしました。老人会は、毎月開催している「健康ウォーキング活動」の写真をウチワに加工（表は写真、裏には説明文）し、展示と手に取って見て頂けるようにしました。



会報やウチワの作品を展示

今年VG概輪の「わがまち紹介活動」で使用した、ガイドブックを再度見直し製本しました。



6種類のガイドブック テーブルの上でも展示

又、平成21年（2009）の「わがまち学ぼう事業」で使用したガイドブック

を見直し、「伝統の酒造りと寺内町のまち」富田ガイドブック」として製本し計6種類のガイドブックを展示しました。展示品と同じ物を自由に手に取って見ていただけるようにもし、多くの方に来場者に見て頂きました。ガイドブックとして分かりやすくするため、カラー写真を多く入れて作りました。



市長にも丁寧に鑑賞して頂きました

気軽に使って頂く為には、ウォーキング中でも手元で見られる様にする必要があります。

そこでスマホで簡単に見られるようにする一方必要なページを簡単に印刷できるように、プログラムを組んで、「VG概輪のホームページ」に投稿致します。

「概輪 ガイドブック」で検索して頂けます。多めに活用して下さい。

記・写真・大岡成一